

# 12 公園めぐりコース <十余一・桜台地区>

とよいち さくらだい

●距離：4.3km ●歩数：7,336歩

- コース
- 緑道
- 病院
- 循環バス停
- 駐車場
- 学校
- 公園
- トイレ
- 神社
- 寺院
- 石造物
- 基点・終点
- 循環ポイント

- ①桜台センター 1.4km / 2,334歩
- ②十余一香取神社 500m / 834歩
- ③徳本供養塔 1.0km / 1,667歩
- ④十余一公園 600m / 1,000歩
- ⑤一本桜公園 400m / 667歩
- ⑥二軒茶屋公園 300m / 500歩
- ⑦三本松公園 100m / 167歩
- ⑧桜台センター

十余一地区は、江戸時代徳川幕府の野馬の放牧場である牧の一つ「印西牧」に含まれていました。明治2年に牧が廃止され、明治3年(1870年)に開墾されて人々が住みはじめました。千葉県内には他にも牧があり、開墾が11番目に行われたことから十余一と名付けられました。桜台地区は、十余一・谷田・清戸地区の一部に含まれていましたが、千葉ニュータウン事業によって新たにまち開きされました。地区名の桜台は、旧地名の一本桜を生かして付けられたものです。

0 100 200 300 400 500m

**②十余一香取神社**  
十余一地区の開墾とともに明治3年(1870年)に祀られました。本殿は塚の上にあり、経津主命を祭神としています。

とくほん

**③徳本供養塔**  
寛政11年(1799年)に建てられた石碑で、徳本上人への信仰に基づくものです。道標も兼っています。

**⑤一本桜公園**  
市の最も東側に位置する公園で、竜の頭のモニュメントがあります。

にけんぢや

**⑥二軒茶屋公園**  
中央に築山があり、その中腹に竜の胴体を連想する水の流りが造られています。

**⑦三本松公園**  
玉をつかんだ竜の爪のモニュメントがあります。

いんざいまきば のしんけいす

**印西牧場の真景図**  
明治3年に描かれた屏風絵でこの部分は今の十余一付近です。(市指定文化財)

**④十余一公園**  
水路や池、森があり、散策に適した公園です。テニスコートもあります。